

昭和54年度予算成立 一般会計12億3,700万円 三特別会計 7億7,680万円



我が国の国内総生産は、安定経済と言いつても言いながら、低迷しているのが現状であり、このよ

うな状況から、地方財政の危機も長期化の傾向を示しているが、当町ではこれら厳しい環境下で、健全財政の堅持を基調とし、限られた財源のなかでより高い行政サービスの追求と確保に努め、明るい町づくりを目指すものです。

ところで、五十四年度は、道路網の整備をはじめ、教育環境の整備、水田利用再編対策に関連した各種農業振興事業の推進、ねたきり老人、身体障害者等の救済を中心とした福祉の充実・強化、又集落をとりまく各種環境整備等にもきめ細かな施策を講じた。

又、将来の学校建設に備え、限りある財源を蓄え、不要不急事業の削除や、経常経費の見直し等を行ない、効率的な財政運営に留意した。

一方、第五次三カ年計画の基に行われている各種事業も順調に進捗しているものの、これら計画実現についても樂觀を許さない状況であり、財源の大半を国・県に依存している今日、財源確保は窮めて困難が予測されます。

しかし、明日の時代を背負う児童・生徒の教育環境の整備には積極的取り組み方針であり、国・県の動向いかんによっては、三カ年

一般会計

昭和五十四年度光町一般会計・三特別会計予算は、三月六日の定例町議会で、原案どおり議決成立しました。

実施計画を繰り上げて学校建設に着手いたします。

五十四年度もすでに執行されておりますが、年々増大する行政需要に対応するためにも限られた財源を効率的に配分し、重点的な財政運営に徹すると共に自主財源の充実、強化をはかり、計画的行政の確立に努める所存です。

道路舗装及び改良事業計画

路線名	事業の概要	
(舗装工事)	延長	巾員
亀崎線	260m	4.0m (篠本一区)
宿清水線	400	3.5 (篠本三区)
小川台線	350	3.0 (小川台)
橋場線	800	3.0 (橋場)
東陽小学校前線	1,000	4.0 (橋場~古屋)
古屋線	450	4.0 (古屋)
篠原線	500	3.5 (篠原)
尾垂関線	900	4.0 (関~尾垂)
尾垂線	300	3.5 (尾垂)
(舗装工事)	延長	巾員
10路線	5,510m	
(改良工事)	延長	巾員
関、白磯線	1,100m	4.0m
直営舗装	延長	
	2,400m	

歳入

(単位千円)

款	昭和54年度		昭和53年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1.町税	257,068	20.8	220,012	16.1	37,056	16.8
2.地方譲与税	30,000	2.4	27,000	2.0	3,000	11.1
3.自動車取得税交付金	25,000	2.0	23,000	1.7	2,000	8.7
4.地方交付税	636,500	51.5	570,000	41.7	66,500	11.7
5.交通安全対策特別交付金	1,500	0.1	1,100	0.1	400	36.4
6.分担金及び負担金	64,089	5.2	17,943	1.3	46,146	257.2
7.使用料及び手数料	7,559	0.6	7,288	0.5	271	3.7
8.国庫支出金	112,661	9.1	157,323	11.5	△ 44,662	△ 28.4
9.県支出金	56,756	4.6	42,728	3.1	14,028	32.8
10.財産収入	6,601	0.5	7,204	0.5	△ 603	△ 8.4
11.寄附金	2,294	0.2	7,887	0.6	△ 5,593	△ 70.9
12.繰入金	10,001	0.8	95,000	7.0	△ 84,999	△ 89.5
13.繰越金	20,000	1.6	20,000	1.5		
14.諸収入	6,971	0.6	11,515	0.8	△ 4,544	△ 39.5
町債			159,000	11.6	△ 159,000	皆減
歳入合計	1,237,000	100.0	1,367,000	100.0	△ 130,000	△ 9.5